

大山阿夫利神社本社  
(旧石尊宮)

日向薬師宝城坊  
(霊山寺)

大山阿夫利神社下社  
(旧大山寺不動堂)

大山寺

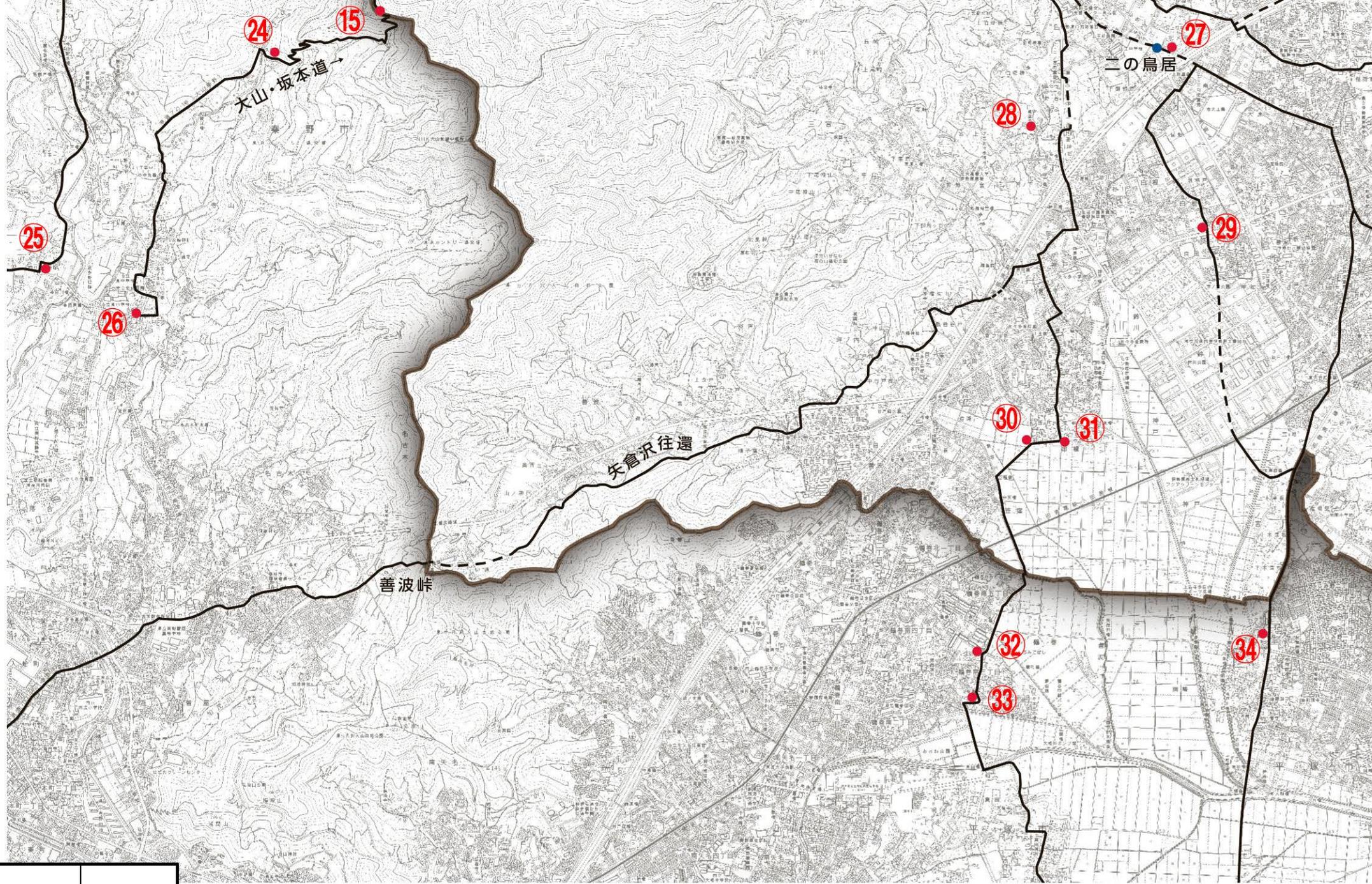
三の鳥居

易往寺

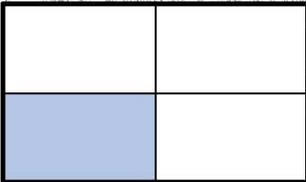
上粕屋  
比比多神社

大日堂



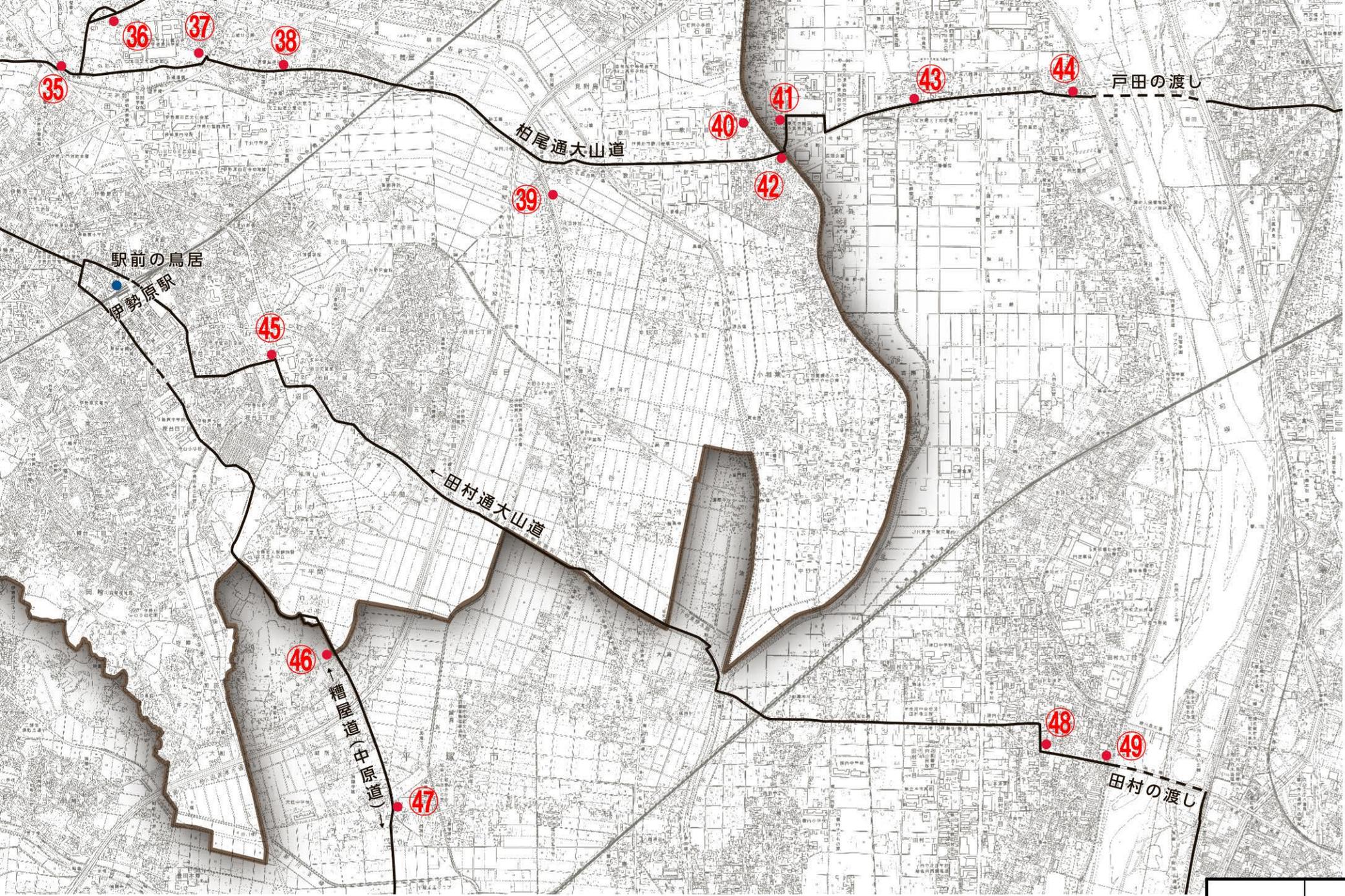


株式会社  
パニ



○市界をデジタル化したものである。道路は、地図を  
縮小したものである。  
1:1 (4) 発行年 平成22年  
発行日

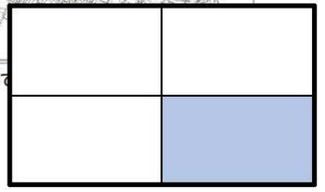
1:2500



伊  
勢  
原

0 1000 1500m

※縮尺はA2サイズで印刷した場合のもの



NO.	場所	説明
①	厚木市七沢	東丹沢七沢観光案内所付近
②	追分の道標(十六丁目)	秦野市蓑毛から合流する位置に立つ道標で、伊勢原市内最高所にある道標。大きさでも市内最大の道標。
③	旧 日向ふれあい学習センター	学習センターへ向かう林の中にある。明和元年(1764)の造立で半跏の不動明王像と一体で彫られている。
④	白髭神社付近	薬師旧参道へ入る角にある。正面に「庚申供養 右 やくしみち」左側面に「左一之沢大山ミチ」の道標。
⑤	日向薬師参道	慶応2(1866)年の造立で、新参道開設の記念碑と思われる。 不動明王が結跏趺坐(けっかふざ)している石像と磐くら。かつては十二神橋の所にあったと聞いている。
⑥	薬師入口バス停付近	青面金剛像の庚申塔 右側面に「右やくしみち」、左側面に「左山ミチ」と彫られている。
⑦	⑥より400mほど先	安政4(1857)年造立の庚申塔「左 一之沢 大山 道」と彫られている。
⑧	実蒔原古戦場の解説案内板そば	正面に青面金剛立像と三猿、右側面に「右八ひなたみち 左は大山道」と彫ってある。
⑨	詳細不明	
⑩	百回登山記念碑	静岡県の新栄講中が造立した道標を兼ねた百回登山記念碑が立っている。
⑪	大日堂付近	川の左岸の道をたどると二叉にわかれ、そこに常夜灯が立っている。
⑫	たけだ旅館前	日向石製で正面に「身禊大滝」、向かって右側面に「是より小田原道」、 左側面に「享和元年辛酉年(1801)建立 慶応紀元乙丑年(1865)再建 武田光純代」とある。
⑬	西富岡八幡神社	
⑭	水呑地蔵	浅間林道の中程に石造物が並んでいる。2つ道標があり、1つは自然石を使用した庚申塔。 もう一つは地蔵尊像がのる道標。
⑮	いより不動	平成26年12月に伊勢原市内の石材店社長により再建された道標。 不動明王像の上部と古い石塔が接合されている。
⑯	石倉からバス通りを西へ1本入る	不動明王坐像がのる道標。山帰りの道標ではないかと考えられる。
⑰	洞昌院そば	上粕屋神社の参道手前の堀際に道標が2基あり、道祖神と並んで立っている。

NO.	場所	説明
⑱	船子八幡神社	船子の鎮守 八幡神社。祭神は誉田別命(ほんだわけのみこと)。社殿左手に庚申塔があり、その一つが大山道標。
⑲	岡田の渡し跡	東名高速道路相模川橋の北側を東に向かい、堤防を下り相模川河畔へ
⑳	円光寺付近	小田原厚木道路の手前から旧毛利の片平に入る。 旧玉川(現在は暗渠)に架かる玉川橋を越えると右手に道標がある。
㉑	富塚商店の駐車場角	道標を兼ねた庚申塔、総高が113cm唐破風付。風化が進んでいる。
㉒	寿経寺西	寿経寺は観照山西光院と号す浄土宗。本堂の奥左手に謎の道標がある。
㉓	東海大学病院裏手付近	不動明王坐像がのっているが、像の下半部を欠いている。道路工事のため若干動いている。
㉔	横畑集落の道標	結跏趺坐(けっかふざ)する不動明王がのる道標で、塔身部正面に「右大山道」と彫られている。
㉕	東公民館の西	
㉖	藤棚バス停	秦野市寺山から坂本道と呼ばれる大山道の起点で、手前の信号の所に石積みに貼りつけてある道標がある。
㉗	山口家住宅	国有形登録文化財「山口家住宅」の敷地に修復・再建された道標がある。
㉘	能満寺境内	
㉙	国道246 中屋敷信号	貞晃寺・松木酒店横
㊳	串橋	串橋下バス停付近
㊴	串橋	串橋下バス停付近
㊵	鶴巻第一自治会館	鶴巻下部大山灯籠が7月25日～8月17日の間見ることができる。(秦野市重要文化財指定)
㊶	おおね公園付近	おおね公園の信号を鶴巻方面へ進みすぐ右折、カーブミラーの対面に小さな自然石の道標がある。
㊷	詳細不明	
㊸	咳止め地蔵	市米橋を渡らずに右手の土手を進むと咳止め地蔵がある。 複数に折れている道標があり、正面に地蔵尊の浮彫、裏に「ひなたみち 大山道」と彫られている。
㊹	市民の森ふじやま公園	ふじやま公園入り口付近の道路わきに道標がある。

NO.	場所	説明
③7	丸山城址公園	下糟屋は厚木方面から来る矢倉沢往還と柏尾通り大山道が交わり、また伊勢原道もある。 下糟屋の宿は矢倉沢往還や大山詣りの戸田道の宿場で、多くの道者が通った。
③8	高部屋神社	慶応元(1865)年十一月の造立。道標を兼ねた庚申塔。道路工事により高部屋神社へ移動された。
③9	上谷	渋田川の土手に石造がいくつかあり、その中に道標がある。
④0	下落合八幡神社境内	不動明王坐像と塔身部が一体で彫られている。明王は頭部がありません。
④1	上落合長徳寺南側	旧大山道は県道から一本北側の道辺りを通っていた。 寺の南側の果樹園沿いに道標を兼ねた石灯籠がある。火袋台より上は崩れている。
④2	下落合長沼信号そば	不動明王がのる道標。高さ156cm。
④3	下津古久天宗寺入口	浄土宗天宗寺(てんそうじ)の大きな看板の隣に不動明王がのる道標がある。
④4	子易神社境内	旧戸田村の北部、小柳の鎮守子易神社の社殿東側に、庚申塔がある。
④5	沼目(わくわく広場近く)	元文(1739)年2月沼目村による造立。「右 日向道、左 大山道」と彫られている。
④6	城所跨道橋を下る	5叉路に、一見お地藏様とってしまう石造が立っている。塔身部と一体の像であれば馬頭観音。
④7	城島駐在所付近	城島とは、明治22(1889)年に城所・下島・小鍋島・大島の4か村が合併してできた村で、 昭和31年に一部平塚市となった。道標を兼ねた「月山 湯殿山 羽黒山 百番観世音供養塔」。
④8	十王堂跡	旧田村十字路にある。江戸時代宝暦9(1759)年に建てられた道標。
④9	八坂神社	八坂神社は田村の鎮守で、須佐之男命が祭神。 社殿の東側に石造物が集められており、その中に2期大山道標がある。